

【都道府県用中間報告書様式】

都道府県番号	29
都道府県名	奈良県

【都道府県教育委員会における学力向上フロンティア事業の取組】

I. 学力向上推進地域名及び学校数、学力向上フロンティアスクール数

学力向上推進地域名	小学校 (うちフロンティアスクール)	中学校 (うちフロンティアスクール)	計 (うちフロンティアスクール)
奈良県学力向上推進地域	238校 (6校)	108校 (5校)	346校 (11校)

II. 学力向上推進協議会（地区協議会）の設置数及び域内の学校数

地区協議会名	小学校 (うちフロンティアスクール数)	中学校 (うちフロンティアスクール数)	計 (うちフロンティアスクール数)
①北和地区協議会 (奈良市、大和郡山市、 天理市、橿原市、生駒市、 月ヶ瀬村、山添村、都祁 村、斑鳩町、平群町、三 郷町、安堵町)	110校 (2校)	50校 (3校)	160校 (5校)
②中和地区協議会(大和 高田市、桜井市、御所市、 香芝市、田原本町、三宅 町、川西町、榛原町、大 宇陀町、菟田野町、室生 村、曾爾村、御杖村、新 庄町、當麻町、広陵町、 上牧町、河合町、王寺町)	81校 (3校)	34校 (1校)	115校 (4校)
③南和地区協議会 (五條市、明日香村、高 取町、吉野町、下市町、 大淀町、西吉野村、黒滝 村、東吉野村、川上村、 天川村、大塔村、野迫川 村、十津川村、上北山村、 下北山村)	47校 (1校)	24校 (1校)	71校 (2校)

III. 都道府県教育委員会としての支援策（実践研究の成果の普及方策の構築、指導資料の作成等）

○地区別協議会に対して

1 学識経験者・指導主事等の派遣と指導助言。

○域内の学校（学力向上フロンティアスクール含む）に対して

- 1 少人数授業・習熟度別授業における指導体制・指導方法等に関する「少人数授業の手引」の提供。
- 2 「基礎学力充実のためのテキスト」の作成と配布。

IV. 学力把握のための都道府県としての取組について

- 1 平成16年度に全県的な学力調査を実施する予定である。

V. 学力向上推進協議会について

○開催時期（参加対象）

- (第1回) 6月（学識経験者、地教委代表、校長会代表、フロンティアスクール校長・研究主任、研究協力者（フロンティアスクール以外の教員）、指導主事）
- (第2回) 9月（学識経験者、地教委代表、校長会代表、フロンティアスクール校長・研究主任、研究協力者（フロンティアスクール以外の教員）、指導主事）
- (第3回) 11月（学識経験者、地教委代表、校長会代表、フロンティアスクール校長・研究主任、研究協力者（フロンティアスクール以外の教員）、指導主事）
- (第4回) 2月（学識経験者、地教委代表、校長会代表、フロンティアスクール校長・研究主任、研究協力者（フロンティアスクール以外の教員）、指導主事）

○テーマと主な協議内容（協議の中で提示された成果や課題など）

- (第1回)「テーマ：学力を高める授業」
 - ・主な協議内容
 - ・学力向上フロンティア事業についての説明・質疑
 - ・フロンティアスクールからの事業計画報告と協議
 - ・講話「学力を高める授業」奈良教育大学教授 小野擴男
- (第2回)「テーマ：学力を高める指導体制や指導方法の工夫～少人数授業や習熟度別授業の工夫・改善～」
 - ・主な協議内容
 - ・実践報告「少人数授業の試み」吉野町立吉野小学校
 - ・協議① 少人数授業・習熟度別授業における指導体制・指導方法の工夫・改善
 - ・協議② 少人数授業・習熟度別授業における教材の開発
 - ・講話「学力を高める指導体制や指導方法の工夫～少人数授業・習熟度別授業をめぐって～」
- (第3回)「テーマ：学力を高める教材の工夫」
 - ・主な協議内容（小学校・中学校部会別協議）
 - ・実践報告「少人数授業・習熟度別授業における教材の工夫や開発」

奈良市立佐保川小学校、奈良市立若草中学校

- ・協議 少人数授業・習熟度別授業における教材の工夫や開発
(第4回)「テーマ：平成14年度フロンティアスクールの研究報告」
- ・主な協議内容
 - ・各フロンティアスクールの研究成果の報告と協議（下記3テーマによる）
 - 「基礎学力をめぐって」
 - 「少人数授業・習熟度別授業をめぐって」
 - 「選択教科・総合的な学習の時間をめぐって」

VI. 実施計画書において示した「事業評価の実施方法・内容」とその進捗状況

(事業評価の実施方法・内容)

- ・各フロンティアスクールにおける取組については、指導主事等の訪問時に実践研究の進捗状況について把握し、適切な指導助言をするとともに、地区別協議会の開催や報告書の提出などを通して、評価を行う。
- ・実践研究の成果については、地区別協議会はもとより、県学力向上推進協議会、教育課程研究集会などを通して、広く域内の学校に広げ、域内の取組に役立てるようにする。

(進捗状況(成果、課題等))

- ・各フロンティアスクールでは、「基礎学力定着のための工夫」「少人数授業・習熟度別授業における指導体制・指導方法の工夫」等に取り組んでいる。関係指導主事や学識経験者等が全フロンティアスクールを訪問して指導に当たり、適切な指導助言を行った。1年次であるため、研究途上ではあるが、各校学力調査における学習状況の上昇、学習意欲の高まり等が報告されている。
- ・各フロンティアスクールの実践研究の成果は、県学力向上推進協議会で報告されている。

また、平成15、16年度に研究発表会を予定しているフロンティアスクールが2校、市町村の研究会で発表しているフロンティアスクールが4校、学校のホームページで成果を発信しているフロンティアスクールが5校、研究冊子を作成しているフロンティアスクールが1校、県内各校へ講師として出向いているフロンティアスクールが1校ある。

【地区別協議会における特色ある取組】

(地区内の学校に対する支援策)

(実践研究の成果の普及方策)

現時点では、地区別協議会としての特色ある取組はない。